

第3回

メチル水銀中毒症研究会主催

慢性メチル水銀中毒症シンポジウム

メチル水銀曝露による健康障害の研究・調査と診断方法

2024年5月31日（金）19:00-20:30

（受付&オンライン接続開始は18:30～）

リファレンス国際ビル

2F貸会議室K-1

（アクセス地図は裏面）

21世紀に入り、これまで以上に、「地球環境を保全し、私たちの健康を守る」ことが、世界の人々の重大な関心事になっています。一方、日本においては、1956年に公式確認されたメチル水銀による環境汚染によっておこされた水俣病の問題がきちんと解決されておらず、裁判も続いています。なぜなのでしょう？

環境汚染が起こった時に、原因企業、行政、研究機関は、住民の健康を守るために、汚染状況や住民の健康を調査する必要があります。水俣病は、これまでこのような調査が十分になされなかつただけでなく、1977年に国が間違った診断基準を定めたことで、大学等の水俣病の臨床や研究がほとんどなくなり、神経内科専門医を含む日本の医師の圧倒的多数はその情報を知らされず、経験の蓄積もなくなったのです。

1970年代から地元で住民検診を続けてきた医師らは、患者を観察し、疫学研究を行い、「魚介類摂取によるメチル水銀曝露があり、四肢の感覚障害等があれば水俣病」という診断基準を確立し、多くの水俣病裁判でも認められ、2006年に「共通診断書」として結実しました。将来の環境汚染による健康被害の発生・拡大防止のためにも、今回のシンポジウムでは「水俣病の診断」に立ち返って、三人の研究者・医師にお話しいただきます。

第1演題 『メチル水銀中毒症の疫学』

演者 岡山大学 医歯薬学総合研究科

教授 頼藤貴志 医師



第2演題 『水俣病の診断はどうあるべきか』

演者 岡山大学大学院 環境生命科学研究科

教授 津田敏秀 医師



第3演題 『水俣病医学の問題と共通診断書の意義』

演者 神経内科リハビリテーション協立クリニック

所長 高岡 滋 医師



参加をご希望の方は下記のURLもしくはQRコードよりお申込みください

<https://kokc.jp/e/69ca30d04593978f0558b833f1a8b054/>

お問い合わせ先

メチル水銀中毒症研究会事務局 荒川 070-5535-3071





◆本イベントは、会場参加とZ o o mによるオンラインの併用開催です。

(現地またはオンライン参加を明記してください)

◆事前のお申し込みが必要です。

(お名前とメールアドレスを登録してください)

◆表面のQRコードかURLからお申し込み下さい。

(“こくちーず”のサイトが開きます。お名前など必要事項を入力して「イベントに参加」にチェックを入れて「申し込む」ボタンをクリックするとメールでZ o o mアドレスが届きます。できるだけ5月27日までにお申し込みください。)

◆オンライン参加の方は、画面に所属と実名を表示して下さい。(本人確認ができない場合は参加をお断りする場合があります)

例：▲▲病院 浪花太郎、□□法律事務所 日本一子 など

◆ご質問はチャット機能でお寄せください。



メチル水銀中毒症研究会シンポジウム 会場



リファレンス国際ビル2F貸会議室K-1

〒100-0005

東京都千代田区丸の内3丁目1-1 国際ビル2F

TEL 03-6269-9686 / FAX 03-6269-9687

